

県立博物館第2回企画展

恐竜のあるいた道

—足跡でさぐる恐竜の不思議—

文化の窓

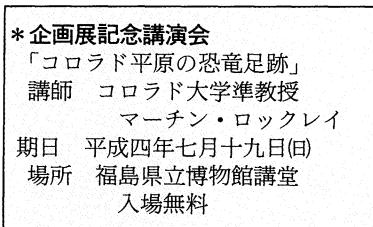
会期 7月18日(土)~9月23日(水)



17 7:21

恐竜は絶滅した動物の中でもっとも魅力的で人気のあるもののひとつですが、その生活についてはまだ謎が多い動物です。最近、恐竜の足跡化石が恐竜の行動や生態を明らかにするのに重要な手がかりとなることがわかつてきました。足跡を調べることにより、恐竜の種類や大きさ、一本足で歩いたのかそれとも四本足なのか、歩いたり走つたりした速さ、姿勢、歩きぶりを知ることができます。また、その地域にたくさん住んでいたかどうか、群れで行動したかどうかなどがわかります。

アメリカ合衆国コロラド平原から



は、日本・コロラド合同の調査により、プロントサウルスやイグアノドンなどきわめてたくさんの恐竜の足跡化石がみつかりました。そして、恐竜の行動の様子が最新の科学的研究により解きあかれました。

この企画展では、コロラド平原の恐竜足跡を中心として、恐竜の行動や生態について紹介します。足跡といふと興味ある新事実を紹介します。足跡といふと風

変わりな展示ですが、そこから生き生きした恐竜像を感じとることができるのでしょう。



〈写真説明〉

上左▶5列に並ぶプロントサウルスの足跡（アメリカ合衆国コロラド州、パーガトリー川河岸）

下右▶プロントサウルスの足跡 小さい方が前足、大きい方が後足（アメリカ合衆国コロラド州、パーガトリー川河岸）

下中▶イグアノドンの足跡化石（アメリカ合衆国コロラド州、ラマー南方）

下右▶獣脚類の足跡（アメリカ合衆国コロラド州、ラマー南方）